「木竜うるし（人形げき）」

平成二十九年二月二十五日

第一次指導

一　よむ（順繰り読み）

七区画　七人

①　昔々

②　二人、木を下りて

③　二　ふちの底

④　三　ふちのそば

⑤　藤六がおそるおそるもどってくる。

⑥　四　ふちの底

⑦　五　ふちのそば

二　とく

○　題目

（板書　木竜うるし（人形げき））

・木竜うるしという人形劇のお話。この劇に出てくるのは誰。

藤六と権八。

・二人の仕事は何か。

きこり。

・「木竜うるし」を「木竜」と「うるし」に分けて考える。

「うるし」を見つけたのは誰か。

藤六。

・「うるし」はお椀や箸、家具など様々な道具に塗る。漆塗りの道具といったら立派な物。しかも、見つけた漆は、○うるし。

上うるし。

・値段は？

高い。

・「木竜」とは何か。作ったのは誰か。

権八。

◎　ひびき

・権八が木竜を作ったわけは？

藤六を驚かせて、うるしに近づかないようにさせたい。

・木竜に驚いたのは誰か？

藤六と権八。

・うるしは誰のものになったか。

村のみんな。

○　手引き

・権八がしたことを書く。少し小さい字で書いてある。括弧の中に書いてあるところもある。

三　よむ

四　かく

1　のぞきこむ

2　行ってしまう

3　真ん中にすえる

4　飛び上がる

5　のぞきこむ

6　なで回す

7　手をやめて

五　よむ

六　とく

○　事実・区分

・権八と藤六が一緒にやったことはどれか。
　のぞきこむ

・どこをのぞきこんでいるのか。
　ふち。

・恐る恐るのぞきこんでいるのは、どちらか。
　5。

・どのぐらい恐ろしいのか。
　飛び上がるほど。

・恐ろしい原因は、どこにあるか。
　3　真ん中にすえる。ふちの中に木竜を置いた。

・木竜が出てくるのは3から。（3から7を括弧でくくる。）
　漆が出てくるのは何番からか？
　2。（2を○で囲む。）

◎　山

・権八の気持ちが変わったのはどこか。
　6　なで回す。（6を○で囲む。）

・気持ちはどう変わったか？
　安心した。
　漆をみんなで分けようと思うようになった。

七　よむ

（板書）

木竜うるし（人形げき）

藤六
権八　きこり

1　のぞきこむ
2　行ってしまう
3　真ん中にすえる
4　飛び上がる
5　のぞきこむ
6　なで回す
7　手をやめて